

5.2 各教員等の学会等での活動

各教員等が 2010 年 1 月～2011 年 12 月の間に行った学会等での活動内容。なお (a)～(e) の区分は以下のとおり。

- (a) 国際研究集会発表
- (b) 国内外委員会, 雑誌エディタ等
- (c) 受賞
- (d) 発明特許
- (e) 共同研究

数理系研究部門

小屋口 剛博

- (b) Journal of Volcanological and Geothermal Research, 編集委員, 2002.4–
日本火山学会, 各賞選考委員, 2010.4–.
- (c) 日本火山学会論文賞, 5 月 24 日, 2012.
- (e) 火山噴火の数値シミュレーション, 代表, 鈴木雄治郎 (JAMSTEC) ほか, 20 名, 454 千円, 2007.11–.
火山現象の数値計算研究, 分担, 鈴木雄治郎 (海洋研究開発機構) 他, 18 名, 千円, 2009.11–.
爆発的火山噴火における火口近傍での噴流構造に関する研究, 分担, 齋藤務 (室蘭工業大学), 4 名, 360 千円,
2010.4–2011.3.
3 次元噴煙モデルとレーダー観測による火山灰拡散降下モデルの高度化, 代表, 鈴木雄治郎 (東大地震研)・小園
誠史 (防災科研)・真木雅之 (防災科研)・前坂剛 (防災科研)・萬年一剛 (温泉地学研), 6 名, 千円, 2012.4–.
噴火様式の多様性についての基礎的研究, 分担, 寅丸敦志 (金沢大理), 名, 千円, .
変形に伴う部分溶融体の構造変化についての実験的研究, 分担, 渡邊了 (富山大理), 名, 千円, .
火山爆発と蒸気爆発, 分担, 谷口宏充 (大阪府教育センター), 名, 千円, .

山下 輝夫

- (b) Acta Geophysica, member of editorial advisory board, 2006.1–2013.12.
日本地震学会, 監事, 2010.5–2012.5.
日本地震学会, 代議員, 2012.4–2014.3.
- (e) リソスフェアの短波長不均質性のイメージングとモニタリングに関する研究の高度化 —地震発生帯の構造の
時空間変化の解明に向けて—, 分担, 村井芳夫他, 46 名, 1093 千円, 2010.4–2011.3.
リソスフェアの短波長不均質性のイメージングとモニタリングに関する研究の高度化 —地殻活動領域の構造
特性の時空間変化の解明に向けて—, 分担, 村井芳夫他, 47 名, 1012 千円, 2011.4–2012.3.

亀 伸樹

- (b) 地震学会・広報委員会, 委員長, 2010.4–2012.3.
地震学会, 理事, 2010.4–2012.3.
地震学会, 代議員, 2012.4–2014.3.
地震学会・広報委員会, 広報委員, 2012.4–2013.3.
- (e) 予測シミュレーションモデルの高度化のための手法開発, 代表, 亀伸樹 (東大・震研), 加藤尚之 (東大・震研),
山下輝夫 (東大・震研), 堀宗朗 (東大・震研), 波多野恭弘 (東大・震研), 川村光 (阪大・理), 上西幸司
(神大・都市安全セ), 芝崎文一郎 (建研), 8 名, 1,100 千円, 2010.4–2015.3.
超深度海溝掘削 KANAME, CO2 班モデル, 分担, 井出哲 (東大・理), 望月公廣 (東大・震研), 亀伸樹 (東大・震
研), 堀高峰 (JAMSTEC), 芝崎文一郎 (建研), 伊藤喜宏 (東北大・理), 吉岡祥一 (神大・都市安全セ),
安藤亮輔 (産総研), 8 名, 800 千円, 2010.4–2015.3.

宮武 隆

- (e) 不均質地殻構造内で発生する地震が作る応力場, 代表, 1 名, 3,000 千円, 平成 21 年～23 年度科研費補助金基盤
研究 (C), 2009.4–2011.3.

波多野 恭弘

- (b) 物性研究, 各地編集委員, 2007.4–.
日本物理学会, 領域役員, 2010.11–2011.10.
- (e) 日本学術振興会・二国間交流事業・共同研究, 分担, Sujata Tarafdar (Jadavpur University) 中原明生 (日本大学)
他 5 名, 8 名, 100 千円, 2011.4–2013.3.
日本学術振興会・二国間交流事業・共同研究, 分担, Ferenc Kun (University of Debrecen) 湯川諭 (大阪大学) 他
7 名, 10 名, 2500 千円, 2012.4–2014.3.

鈴木 雄治郎

- (c) 日本火山学会研究奨励賞, 5 月 23 日, 2011.5.23.

地球計測系研究部門**加藤 照之**

- (b) 日本学術会議地球惑星科学委員会 IAG 小委員会, 委員, 2006.10-。
 日本測地学会, 海外渡航助成委員会 (委員長, 2007.4-。
 日本地球惑星科学連合国際委員会, 委員長, 2007.5-。
 日本学術会議 (第 21 期) 地球惑星科学委員会国際対応分科会, 委員, 2008.10-。
 日本学術会議 (第 21 期) 地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAG 小委員会, 委員, 2009.1-2011.9。
 日本学術会議 (第 21 期) 地球惑星科学委員会国際対応分科会, 委員, 2009.1-2011.9。
 測位航法学会, 理事 (副会長), 2009.11-2012.3。
 日本地震学会, 副会長・理事, 2010.5-2012.5。
 日本地球惑星科学連合国際学術委員会, 副委員長, 2010.5-2012.5。
 日本気象学会, 評議員, 2011.2-2012.6。
 日本測地学会, 副会長, 2011.4-2013.3。
 日本地震学会, 会長, 2012.5-2014.5。
 日本地球惑星科学連合国際学術委員会, 副委員長, 2012.5-2014.5。
 日本気象学会, 評議員, 2012.7-2014.6。
- (e) インドネシアにおける地震火山の総合防災策, 分担, 佐竹健治 (代表) 他, 約 120 名, 約 130,000 千円, 2008.10-2012.3。
 GPS 海洋ブイを用いた革新的海洋・海底総合防災観測システムの開発, 分担, 寺田幸博 (高知高専), 永井紀彦 (港空技研), 越村俊一 (東北大), 4 名, 1,000 千円, 2009.4-2014.3。
 自然災害の減災と復旧のための情報ネットワーク構築に関する研究, 分担, 村井純 (慶応大学), 瀧澤一, 鷹野澄, 大木聖子他, 約 50 名, 千円, 2009.4-2014.3。

今西 祐一

- (b) 日本測地学会, 評議員, 2011.4-2013.3。

中谷 正生

- (b) 日本地震学会, 代議員, 2009.5-2014.3。
 日本地震学会, 大会・企画委員, 2011.4-2013.3。
 日本地学会・学生優秀発表賞選考委員会, 委員長, 2012.4-2013.3。
 地球惑星科学関連合同大会, 地震予知代表コンビーナ, 2012.10-2013.6。
- (e) 南アフリカ金鉱山における M2 級震源域での地震の準備と発生過程の総合観測, 分担, 小笠原宏 (代表: 立命館大)・矢部康男 (東北大)・川方祐則 (立命館大) ほか, 19 人名, 148400 千円, 2009.4-2014.3。
 南アフリカ大深度鉱山での A E 計測第二期: 地下空洞による岩盤損傷の監視と山跳ね予知, 代表, 森谷裕一 (東北大)・雷興林 (産総研) ほか, 9 名, 10 名, 46280 千円, 2009.4-2014.3。
 高感度微小破壊観測による地震破壊域の同定, 代表, 直井誠 (地震研究所) 他, 10 名, 36625 千円, 2010.4-2015.3。

高森 昭光

- (c) IEEE/OES Japan Chapter Young Researcher Award, 10 月 14 日, 2011.10.14。

田中 愛幸

- (b) 地球惑星連合, プログラム委員 (測地学会代表), 2010.4-。
 連合大会, プログラム委員, 2011.4-2012.3。
 測地学会, 評議員, 2011.4-2012.3。
- (c) 測地学会坪井賞受賞, 5 月 24 日, 2012.5.24。

物質科学系部門**栗田 敬**

- (b) 日本地球惑星科学連合, キャリア支援委員会, 委員長, 2009.4-2012.4。

中井 俊一

- (b) 日本地球化学会/地球と宇宙の化学事典/, 編集委員, 2008.4-2012.8。
 日本地球化学会, 評議員, 2010.1-2011.12。

武井 (小屋口) 康子

- (b) 地震学会, 代議員, 2003.4-。
 , 2008.4-。

安田 敦

- (b) 火山学会, 各賞選考委員会, 2010.7-2012.6。
 (c) 日本地質学会論文賞, 9 月 15 日, 2012.9.15。

- (e) 衛星リモートセンシングによる東アジア活火山の準リアルタイム観測：SGLIによる高度化, 分担, 金子隆之 (東大地震研) 他, 5名, 千円, 2009.4-2013.3.
 富士山麓における火砕流堆積物の堆積過程に関する研究, 分担, 嶋野岳人 (代表: 富士常葉大) 他, 5名, 千円, 2010.4-2011.3.
 火口近傍へ観測機器設置を行うための無人ヘリシステムの開発とその試験観測, 分担, 大湊隆雄 (代表: 東大地震研)・他, 12名, 千円, 2010.4-2012.3.
 科研費基盤 B「活火山直下の力学的膨張源とマグマ溜まりの対応: 実験岩石学的アプローチ」, 分担, 藤井敏嗣 (代表) (環境防災総合政策研究機構), 2名, 千円, 2010.4-2014.3.
 沖縄トラフ西縁火山列の検証, 分担, 横瀬久芳 (熊本大学), 3名, 308千円, 2011.4-2012.3.
 富士火山における火砕流堆積物の定置過程・層序関係に関する研究, 分担, 嶋野岳人 (富士常葉大学・環境防災研究科), 4名, 340千円, 2011.4-2012.3.
 大規模珪長質マグマ活動における地殻内のマグマ液組成および含水量の測定, 分担, 金子克哉 (京都大学), 2名, 123千円, 2011.4-2012.3.
 科研費基盤 A「次世代衛星と噴火推移データベースによる東アジア活火山観測の高度化」, 分担, 金子隆之 (東大地震研), 2名, 千円, 2011.4-2015.3.
 顕微 FT-IR 反射分光法を用いた大規模珪長質火成活動におけるマグマ含水量の測定, 分担, 金子克哉 (京都大学), 2名, 130千円, 2012.4-2013.3.
 富士火山成長期における溶岩流と火砕堆積物の層序関係に関する研究, 分担, 嶋野岳人 (富士常葉大学), 3名, 410千円, 2012.4-2013.3.
 五島列島第四紀火山岩類の地球化学的特徴, 分担, 横瀬久芳 (熊本大学), 3名, 270千円, 2012.4-2013.3.
 噴火に伴うマグマ中の揮発性成分変化に関する研究, 代表, 池端慶 (筑波大学), 2名, 19.8千円, 2012.4-2013.3.

三部 賢治

- (b) The Geochemical Society/C.C. Patterson Award Committee, Member, 2009.7-2012.6.

三浦 弥生

- (b) 日本地球化学会, 和文誌「地球化学」編集委員会, 委員, 2006.1-2011.12.
 日本惑星科学会, 欧文誌専門委員, 2009.1-2013.12.
 EPS誌運営委員, 委員, 2009.1-2013.12.
 (e) 火星複合探査計画 (MELOS)WG・ローバー SG, 分担, 並木則行 (千葉工大) ほか, 約 30名, 千円, 2009.4-2012.12.
 はやぶさ2プリプロジェクト・サンプリング SG, 分担, 澤田弘崇 (JAXA/ISAS) ほか, 約 40名, 千円, 2009.9-2012.12.
 太陽系惑星物質の起源と進化過程の解明, 分担, 小島秀康 (国立極地研究所) ほか, 名, 千円, 2010.4-2014.3.
 K-Ar 法を用いた月・火星探査車用その場年代計測装置の基礎開発, 分担, 杉田精司 (東京大学) ほか, 5名, 5000千円, 2010.4-2011.3.
 K-Ar 法を用いた月・火星探査車用その場年代計測装置の基礎開発, 分担, 杉田精司 (東京大学) ほか, 5名, 5000千円, 2011.4-2012.3.
 月面年代学シリーズ探査, 分担, 諸田智克 (名古屋大学) ほか, 約 20名, 千円, 2012.4-2014.3.
 真空紫外分光による K-Ar 年代測定, 分担, 亀田真吾 (立教大学) ほか, 10名, 3000千円, 2012.4-2013.3.

折橋 裕二

- (b) 日本地球化学会広報委員会, 委員, 2010.1-2011.12.
 Geochemical Journal, Guest Editor, 2011.12-.
 日本地球化学会, 評議員, 2012.1-2013.12.
 日本地球化学会将来計画委員会, 委員, 2012.1-2013.12.
 日本地球化学会 GJ 出版ワーキンググループ, 副査, 2012.1-2013.12.
 Island Arc, Guest Editor, 2012.1-.
 Island Arc, Associate Editor, 2013.1-.
 (e) NECESSArray 計画: 中国大陸からみる地球内部ダイナミクス, 分担, 川勝 均 (代表: 東大・地震研)・田中 聰 (IFREE, JAMSTEC)・飯高 隆 (東大・地震研) 他, 10名, 9760千円, 2007.4-2011.3.
 超背弧地域に産する玄武岩質マグマの成因解明: 第 4 のマグマ生成場として, 代表, 角野 浩史 (東大・理学系研究科)・安間 了 (筑波大・生命環境) ほか, 9名, 16130千円, 2009.4-2013.3.
 三波川変成岩類の堆積年代の解明: 碎屑性ジルコンの LA-ICPMSU-Pb 年代から, 分担, 大藤 茂 (富山大・大学院理工) ほか, 3名, 509千円, 2010.4-2011.3.
 紀伊半島と周辺地域の中新世火成岩: 表層地質から付加体深部の地殻構造を探る, 分担, 新正裕尚 (代表: 東京経済大・経営), 2名, 456千円, 2010.4-2011.3.
 海嶺沈み込みによる堆積物の物性変化とタービダイト発生頻度, 分担, 安間 了 (代表: 筑波大・生命環境), 2名, 380千円, 2010.4-2011.3.
 琉球弧における花崗岩類の LA-ICP-MS による年代解明, 分担, 古川 雅英 (琉球大学) ほか, 3名, 540千円, 2011.4-2012.3.
 沈み込んだスラブと堆積物の溶融による西南日本外帯花崗岩マグマ生成の検証, 分担, 安間 了 (筑波大学) ほか, 2名, 400千円, 2011.4-2012.3.
 三波川一四万十帯の年代学的後背地解析: 西南日本の超低角構造の成因解明に向けて, 分担, 大藤 茂 (富山大学) ほか, 4名, 675千円, 2011.4-2012.3.

日本列島を形成した弧－海溝系の進化：過去5億年間の比較沈み込み帯学に向けて－, 分担, 大藤 茂 (富山大) ほか, 4名, 1651千円, 2012.4-2013.3.

災害科学系研究部門

壁谷澤 寿海

- (b) 日本建築学会構造委員会鉄筋コンクリート構造運営委員会応答スペクトルにもとづく耐震設計小委員会小委員会, 主査 (-2009.3), 委員 (2009.4), 2007.4-2011.3.
 日本建築学会構造委員会鉄筋コンクリート構造運営委員会, 主査, 2009.4-2013.3.
 日本建築学会構造委員会鉄筋コンクリート構造運営委員会二次設計小委員会, 委員, 2009.4-2011.3.
 日本建築学会構造委員会, 委員, 2009.4-2013.3.
 日本建築学会構造委員会構造工学論文集編集委員会, 委員, 2009.4-2013.3.
 日本建築学会構造委員会鉄筋コンクリート構造運営委員会RC規準実用化対応WG, 委員, 2010.4-2012.3.
 日本建築学会構造委員会鉄筋コンクリート構造運営委員会部材性能評価小委員会壁部材WG, 委員, 2010.4-2014.3.
 日本建築学会構造委員会鉄筋コンクリート構造運営委員会二次設計規準作成小委員会, 委員, 2011.4-2013.3.
 日本建築学会構造委員会鉄筋コンクリート構造運営委員会等価線形化に基づく耐震性能評価指針作成小委員会, 委員, 2011.4-2015.3.
 日本建築学会構造委員会鉄筋コンクリート構造運営委員会部材性能評価小委員会, 委員, 2011.4-2015.3.
 日本建築学会文教施設委員会耐震性能等小委員会, 主査, 2011.4-2012.3.
 日本建築学会構造委員会鉄筋コンクリート構造運営委員会東日本大震災報告書編集WG, 委員, 2012.4-2014.3.
 日本建築学会構造委員会鉄筋コンクリート構造運営委員会保有水平耐力計算規準小委員会, 委員, 2013.4-2015.3.
 日本建築学会構造委員会鉄筋コンクリート構造運営委員会保有水平耐力計算規準小委員会保有水平耐力規準WG, 委員, 2013.4-2015.3.
 日本建築学会構造委員会鉄筋コンクリート構造運営委員会保有水平耐力計算規準小委員会保有水平耐力規準設計例WG, 委員, 2013.4-2015.3.
 日本建築学会構造委員会鉄筋コンクリート構造運営委員会等価線形化に基づく耐震性能評価指針作成小委員会等価線形化法に基づく地震応答評価法WG, 委員, 2013.4-2015.3.
- (e) 袖壁付き柱を有する鉄筋コンクリート建物の耐震性能評価法に関する研究, 代表, 1名, 15300千円, 2007.4-2011.3.
 耐震診断法の高度化に関する検討, 分担, 関松太郎 (日本建築防災協会, 代表), 中埜良昭 (東京大学生産技術研究所), 山田哲 (東京工業大学建築物理センター), 腰原幹雄 (東京大学生産技術研究所), 20名, 20000千円, 2008.9-2011.3.
 平成 22年度建築基準整備促進補助金事業7. 鉄筋コンクリート造の変断面部材の構造特性評価に関する実験「袖壁付き柱の靱性と壁付き柱梁接合部の力学特性に関する実験と実用評価法の検証」, 代表, 田才晃 (横浜国立大学大学院工学研究院), 楠浩一 (横浜国立大学大学院工学研究院), 3名, 20000千円, 2010.4-2011.3.
 平成 23年度建築基準整備促進補助金事業39. 鉄筋コンクリート造連層耐力壁の構造詳細と部材種別に係る基準の整備に資する検討, 分担, 河野進 (京都大学大学院工学研究科), 市之瀬敏勝 (名古屋工業大学大学院工学研究科), 真田靖士 (豊橋技術科学大学大学院工学研究科), 4名, 5376千円, 断面配筋および加力条件がRC造連層耐震壁の変形性能に与える影響に関する調査, 2011.4-2012.3.
 基礎底面の滑動による地震動入力逸散機構に関する研究, 代表, 福山洋 (建築研究所), 壁谷澤寿一 (建築研究所), 3名, 4900(H23), 3400(H24) 2011.4-2014.3.
 平成 24年度建築基準整備促進補助金事業39. 鉄筋コンクリート造連層耐力壁の構造詳細と部材種別に係る基準の整備に資する検討, 分担, 河野進 (京都大学大学院工学研究科), 市之瀬敏勝 (名古屋工業大学大学院工学研究科), 真田靖士 (豊橋技術科学大学大学院工学研究科), 4名, 5,415千円, 「断面配筋および加力条件がRC造連層耐震壁の変形性能に与える影響に関する調査」, 2012.4-2013.3.

額縁 一起

- (b) 日本地震学会強震動委員会, 委員, 1996.4-2014.3.
 (社) 日本地震学会, 代議員, 2000.12-2014.3.
 Journal of Seismology, Associate Editor, 2005.11-2012.12.
 日本地震工学会 ESG 研究委員会, 委員, 2011.4-2013.3.
- (e) 科学技術振興調整費「統合化地下構造データベースの構築: 3-2 深部地盤構造データベースの利活用手法」, 代表, 三宅弘恵・引間和人, 3名, 千円, 2006.7-2011.3.
 科研費基盤研究(A)「長周期地震動とその都市災害軽減に関する総合研究」, 代表, 堀宗朗・古村孝志・三宅弘恵・入倉孝次郎(愛工大)・翠川三郎(東工大)・笹谷努(北大)・岩田知孝・釜江克宏(京大)・川瀬博・竹中博士(九大)・福和伸夫(名大)・久田嘉章(工学院大)・座間新作(消防研)・藤原広行・青井真(防災科技研)・東貞成(電中研)・関口春子(産総研)・工藤一嘉(日大), 19名, 千円, 2007.4-2011.3.
 首都直下地震防災・減災特別プロジェクト「I-4. 震源断層モデル等の構築」, 代表, 三宅弘恵・増田徹・引間和人・古村孝志・岩田知孝(京大)・藤原広行(防災科研)・翠川三郎(東工大)・竹中博士(九大)・笹谷努(北大)・井出哲(東大)・谷本俊郎(UCSB)・他, 約15名, 千円, 2007.7-2012.3.

- ひずみ集中帯の重点的調査観測・研究「5-3 強震動評価によるモデル検証」, 代表, 石瀬素子・三宅弘恵・引間和人(東京電力), 3名, 千円, 2008.4-2013.3.
- インドネシアにおける地震火山の総合防災策「1-4 強震動予測」, 代表, 三宅弘恵, 山中浩明(東工大), 小林励司(鹿児島大), アフニマル(バンドン工科大), 5名, 千円, 2008.10-2012.3.
- 神縄・国府津-松田断層帯における重点的調査観測「3. 断層帯周辺における地震動予測の高度化のための研究」, 代表, 石瀬素子・三宅弘恵, 3名, 千円, 2009.4-2012.3.
- 地震動予測手法の高度化に関する研究, 代表, 司宏俊・三宅弘恵・H. Ghasemi, 福島美光 (IAEA), 5名, 千円, 2009.4-2014.3.
- 自然災害の減災と復旧のための情報ネットワーク構築に関する研究「1. 地震災害の軽減」, 代表, 加藤照之・大木聖子, 鷹野澄・古村孝志・大原美保(情報学環), R. K. Chadha・D. Srinagesh・N. Purnchandra Rao(インド国立地球物理学研究所), 約10名, 千円, 2009.10-2015.3.
- 長周期地震動予測地図作成等支援事業, 代表, 三宅弘恵, 香川敬生(鳥取大), 藤原広行(防災科研), 約5名, 千円, 2010.4-2011.3.
- 基準地震動策定における地震動伝播特性評価の高度化に関する検討, 代表, 三宅弘恵, 2名, 千円, 2010.4-2011.3.
- 科研費基盤研究(A)「次世代地震動予測式の構築」, 代表, 三宅弘恵, 翠川三郎・川島一彦(東工大), 藤原広行・森川信之(防災科研), 高田毅士・久保哲夫(東工大), 佐藤俊明(清水建設), 能島暢呂(岐阜大), 片岡正次郎(国総研), 神野達夫(広島大), 入倉孝次郎(愛知工大)・福和伸夫(名大), 14名, 千円, 2011.4-2015.3.

三宅 弘恵

- (b) 日本地震学会, 代議員, 2006.5-.
- 日本地震学会地震編集委員会, 委員, 2009.4-2011.3.
- 日本建築学会構造委員会振動運営委員会地震動小委員会シンポジウム企画WG, 委員, 2011.4-2013.3.
- 日本地震学会夏の学校委員会, 委員, 2011.5-2012.3.
- Geochemistry, Geophysics, Geosystems, AGU, Associate Editor, 2011.9-.
- (e) 平成18年度科学技術振興調整費(重点課題解決型研究)「統合化地下構造データベースの構築」, 分担, 藤原広行(代表:防災科研)ほか, 名, 千円, 2006.4-2011.3.
- 平成19年度科学研究費(基盤(A))「長周期地震動とその都市災害軽減に関する総合研究」, 分担, 額額一起(代表)ほか, 19名, 46,020千円, 2007.4-2011.3.
- 文部科学省受託研究「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト①首都圏でのプレート構造調査, 震源断層モデル等の構築等」, 分担, 平田直(代表)ほか, 名, 千円, 2007.6-2012.3.
- 文部科学省受託研究「東海・東南海・南海地震の連動性評価研究プロジェクト②連動性を考慮した強震動・津波予測及び地震・津波被害予測研究」, 分担, 古村孝志(代表)ほか, 名, 千円, 2008.6-2013.3.
- 平成20年度地球規模課題対応国際科学技術協力事業「インドネシアにおける地震火山の総合防災策」, 分担, 佐竹健治(代表)ほか, 名, 千円, 2008.10-2012.3.
- 損害保険料率算出機構受託研究「地震動予測手法の高度化に関する研究」, 分担, 額額一起(代表)ほか, 名, 千円, 2009.4-.
- 平成21年度地球規模課題対応国際科学技術協力事業「鉦山での地震被害低減のための観測研究」, 分担, 小笠原宏(代表)ほか, 名, 千円, 2009.4-.
- 平成21年度科学研究費(基盤(S))「南アフリカ金鉦山におけるM2震源域での地震の準備と発生過程の総合観測」, 分担, 小笠原宏(代表)ほか, 18名, 148,400千円, 2009.4-.
- 文部科学省受託研究「神縄・国府津-松田断層帯における重点的な調査観測」, 分担, 岩崎貴哉(代表)ほか, 名, 千円, 2009.5-2012.3.
- 文部科学省受託研究「長周期地震動予測地図作成等支援事業」, 分担, 額額一起(代表)ほか, 6名, 千円, 2010.4-2011.3.
- 文部科学省受託研究「ひずみ集中帯の重点的調査観測・研究」, 分担, 小原一成・関口渉次(代表:防災科研)ほか, 名, 千円, 2010.4-2013.3.
- 原子力安全基盤機構受託研究「平成22年度基準地震動策定における地震動伝播特性評価の高度化に関する検討」, 分担, 額額一起(代表)ほか, 2名, 千円, 2010.4-2011.3.
- 平成23年度科学研究費(基盤(A))「次世代地震動予測式の構築」, 分担, 額額一起(代表)ほか, 14名, 千円, 2011.4-.

地震予知研究センター

平田 直

- (b) 社団法人日本地震学会, 代議員, 2004.4-2012.3.
- 公益社団法人日本地震学会, 2012年度通常代議員, 2012.4-2014.3.
- (e) 文科省受託研究「首都直下地震防災減災特別プロジェクト」①首都圏周辺でのプレート構造調査, 震源断層モデル等の構築等, 代表, 佐藤比呂志(地震研究所)他, 20名, 3,203,962千円, 「首都直下地震防災減災特別プ

- プロジェクト①首都圏周辺でのプレート構造調査、震源断層モデル等の構築等, 2007.7-2012.3.
 ひずみ集中帯の重点的調査観測・研究, 分担, 関口渉次 (防災科学技術研究所), 小原一成 (地震研修所), 佐藤比呂志 (地震研修所), 上嶋誠 (地震研修所), 20名, (分担) 20,000, ひずみ集中帯の重点的調査観測・研究, 2008.4-2013.3.
 2011年東北太平洋沖地震に関する総合調査, 分担, 篠原雅尚 (地震研) 他, 28名, (全体額)48,900千円, 2011.3-2012.3.
 都市の脆弱性が引き起こす激甚災害軽減化プロジェクト: サブプロジェクト①首都直下地震の地震ハザード・リスク予測のための調査・研究, 代表, 木村尚紀 (防災科研), 佐藤比呂志 (地震研), 佐竹健司 (地震研), 鶴岡弘 (地震研), 堀宗郎 (地震研), 酒井慎一 (地震研), 中川茂樹 (地震研), 石川正弘 (横浜国大), 30名, 1,367,800千円, 2012.7-2017.3.

佐藤 比呂志

- (b) 日本地震学会, 代議員, 2006.5-2013.5.
 (e) ひずみ集中帯地殻構造探査 (東山-三島測線), 代表, 加藤直子・岩崎貴哉・蔵下英司 (地震研)・石山達也 (東北大)・阿部進 (地科研)・稲葉充 (石油資源開発) など, 20名, 1331818千円, 2010.4-2011.3.
 首都直下地殻構造探査 (九十九里-つくば測線), 代表, 蔵下英司・岩崎貴哉・平田直 (地震研), 20名, 176376千円, 2010.4-2011.3.
 会津盆地西縁断層帯の高分解能反射法地震探査, 代表, 石山達也 (東北大)・加藤直子 (東大・地震研)・加藤一 (山梨大)・戸田茂 (愛知教育大) など, 12名, 5000千円, 2010.4-2011.3.
 悠久山断層の高分解能反射法地震探査, 代表, 加藤直子 (東大地震研)・石山達也 (東北大/東大地震研)・越谷信 (岩手大)・戸田茂, 10名, 5000千円, 2010.4-2011.3.
 (基盤B) 地質構造にもとづく潜在震源断層マッピング, 代表, 武田哲也 (防災科技)・工藤健 (中部大)・豊島剛志 (新潟大)・越谷信 (岩手大)・山北聡 (宮崎大)・堤浩之 (京都市大)・石山達也 (東北大) など, 7名, 4800千円, 2010.6-2011.3.

上嶋 誠

- (b) Earth Planet Space, Editor, 2005.4-2012.12.
 (e) ひずみ集中帯の重点的調査観測・研究, 分担, 平田直・森田裕一・小山崇夫・小河勉・市原寛・長谷英彰・相澤広記・菅野貴之・渡邊篤志 (東大震研)・茂木透・山谷祐介 (北大理)・西谷忠師・坂中伸也 (秋田大資源工学)・三品正明 (東北大理)・小川康雄 (東工大火山流体研究セ)・大志万直人・吉村令慧 (京大防災研), 13名, 25000千円, 2008.4-2013.3.

望月 公廣

- (b) 日本地球掘削科学コンソーシアム事前調査検討専門部会, 委員, 2009.5-2013.5.
 日本地震学会, 代議員, 2009.5-2013.5.

五十嵐 俊博

- (b) 日本地震学会広報委員会, 委員, 2001.12-2012.3.
 日本地震学会夏の学校委員会, 委員, 2011.4-2012.3.

石山 達也

- (b) 日本活断層学会/活断層研究/編集委員会, 編集委員, 2008.4-2012.3.
 日本第四紀学会/第四紀研究/編集委員会, 編集委員, 2011.8-2013.7.
 日本活断層学会理事会, 理事, 2012.4-。
 (e) 文部科学省研究開発局委託業務「ひずみ集中帯の重点的調査観測・研究」, 分担, 関口渉次 (代表: 防災科研) ほか, 名, 千円, 2009.4-2013.3.
 文部科学省研究開発局委託業務「神縄・国府津-松田断層帯における重点的調査観測・研究」, 分担, 岩崎貴哉 (東大地震研: 分担) ほか, 名, 千円, 2009.4-2012.3.

蔵下 英司

- (b) 日本地震学会大会・企画委員会, 委員, 2010.4-2012.3.
 日本地震学会広報委員会, 委員, 2010.4-2012.3.
 日本地震学会学生優秀発表賞選考委員会, 委員, 2010.9-2011.3.
 日本地震学会夏の学校委員会, 委員, 2011.6-2012.3.
 日本地震学会学生優秀発表賞選考委員会, 委員, 2011.9-2012.3.

山田 知朗

- (b) (社) 日本地震学会・地震編集委員会, 委員, 2009.4-。

火山噴火予知研究センター

武尾 実

- (b) 日本地震学会, 代議員, 2007.4-2012.3.

- (e) KM2O-Langevin 方程式理論に基づく地震波動の解析手法の開発, 代表, 岡部靖憲 (東大院・情報理工学系研究科), 松浦真也 (東大院・情報理工学系研究科, 5 名, 千円, 2002.4-.

中田 節也

- (b) Bulletin of Volcanology, Associate editor, 2005.12-2011.12.
IAVCEI Award Nomination Committee, Chairman, 2007.4-2011.3.
IAVCEI, President, 2007.7-2011.6.
IUGG 執行委員会, 委員, 2007.7-2011.6.
特定非営利活動法人日本火山学会, 理事/将来計画委員長, 2008.7-2012.6.
日本地球惑星科学連合, 代議員, 2010.6-2014.5.
特定非営利活動法人日本火山学会, 会長, 2010.7-2012.6.
IAVCEI 学術総会 2013 年 (鹿児島大会) 組織委員会, 学術部会長 (Chair of Science Committee), 2010.7-2013.7.
1st Volcano Observatory Best Practices Workshop (VOBP), Steering Committee, Member, 2010.9-2011.9.
5th International UNESCO Conference on Geoparks, 実行委員会, 委員長, 2010.11-2012.5.
IAVCEI Executive Committee, Past President, 2011.7-2015.6.
Journal of Geography & Natural Disasters, Editorial Board member, 2011.11-2013.10.
(c) 日本地質学会論文賞, 9 月 15 日, 2012.9.15.

及川 純

- (b) 一般社団法人日本地球惑星科学連合財務委員会, 委員, 2005.4-2012.6.
日本火山学会財務委員会, 委員, 2010.7-2011.6.
日本火山学会財務委員会, 委員, 2012.6-2014.3.

金子 隆之

- (b) 日本火山学会, 理事, 2010.7-2014.6.
(c) 日本地質学会論文賞, 9 月 15 日, 2012.9.15.

市原 美恵

- (b) 日本火山学会, 大会プログラム委員, 2008.4-.
日本地球惑星科学連合, キャリア支援委員会, 副委員長, 2010.3-.

青木 陽介

- (b) 日本火山学会, 大会委員, 2004.10-.
日本地球惑星科学連合, コンビナー 活動的火山, 2005.10-.
日本地球惑星科学連合, プログラム委員, 2007.10-.
地震, 編集委員, 2009.4-2011.3.
測地学会誌, 編集委員, 2009.4-.

前野 深

- (b) 日本火山学会, HP 委員, 2008.4-.
日本地球惑星科学連合, 情報システム委員, 2009.4-.
日本火山学会, 編集委員, 2010.7-.
日本火山学会, 他学会連絡担当委員, 2012.7-.

海半球観測研究センター

川勝 均

- (b) 日本地震学会, 代議員, 2002.4-2014.3.
日本地球惑星科学連合, サイエンスセクションボードメンバー (固体地球科学セクション), 2009.12-2013.11.
日本地震学会東北地方太平洋沖地震対応臨時委員会, 委員, 2011.5-2012.5.
(c) AGU Fellow, 1 月 20 日, 2012.1.20.

歌田 久司

- (b) IAGA/IASPEI Working Group on the re-use of submarine telephone cables, IASPEI representative, 2007.8-2011.7.
日本学術会議 IAGA 小委員会, 委員, 2008.10-2011.9.
地球電磁気・地球惑星圏学会, 評議員, 2009.4-2011.3.
Symposium on Underwater Technology and Scientific Use of Submarine Cables 2011, General co-chair, 2009.8-2011.4.
日本地球惑星科学連合, 固体地球科学セクション・サイエンスボードメンバー, 2010.4-2012.3.
日本地球惑星科学連合, 代議員, 2010.4-2012.3.
EGU 2011 general assembly, convener, 2010.7-2011.4.
Nomination committee for IAGA executives election, member, 2010.12-2011.7.

地球電磁気・地球惑星圏学会, 評議員, 2011.4-2013.3.

Underwater Technology 13, General Co-chair, 2012.2-2013.3.

日本地球惑星科学連合, 固体地球セクション, バイスプレジデント, 2012.4-2014.3.

日本地球惑星科学連合, 代議員, 2012.4-2014.3.

- (e) 太平洋における海底ケーブルネットワークによる電位差観測, 代表, A.D. Chave (WoodsHole 海洋研究所), A. Flosadottir (NOAA PMEL), 5名, 千円, 1991.4-.
- 中国東北部における電磁気観測, 代表, 趙 國澤 (中国地震局地質研究所), 5, 1998.4-.
- ロシア沿海州における地球電磁気観測, 代表, V. Nikiforov (ウラジオストク太平洋海洋研究所), 5, 2000.4-.
- 太平洋域ネットワーク観測による地球内部の構造とダイナミクスの解明, 代表, 坪井誠司 (海洋研究開発機構), 10名, 52,000千円, 2008.4-2011.3.
- 太平洋域ネットワーク観測による地球内部の構造とダイナミクスの解明, 代表, 末次大輔 (海洋研究開発機構), 20名, 16,000千円, 2011.4-2015.3.
- Russia-Japan cooperative study of the Northeastern Asia upper mantle electrical conductivity, 代表, 藤浩明 (京大), 清水久芳, 馬場聖至 N. Palshin, V. Nikiforov, I. Varentsov, D. Alexeev, I. Dmitriev, E. Sokolova (ロシア科学アカデミー), 10名, 3,140千円, 2011.4-2013.3.

清水 久芳

- (b) 地球電磁気・地球惑星圏学会, 運営委員, 2007.4-2013.3.
- 日本地球惑星科学連合, プログラム委員, 2011.8-2013.8.
- (e) 地球内核境界の構造とダイナミクスー半球構造の成因一, 分担, 田中聡 (JAMSTEC)・松島政貴 (東工大), 3名, 千円, 2009.4-2013.3.

塩原 肇

- (e) 平成 22 年度科学研究費 (特別推進)「海半球計画の新展開:最先端の海底観測による海洋マントルの描像」, 分担, 歌田久司 (代表)・川勝均・塩原肇・馬場聖至・一瀬建日・末次大輔・他, 16名, 82,790千円, 2010.4-.
- 平成 23 年度科学研究費 (基盤 (C)) 最新海底地震観測技術による傾斜変動観測への挑戦, 代表, 塩原肇・篠原雅尚・一瀬建日, 3名, 4000千円, 2011.4-.

竹内 希

- (b) 地震研彙報, 編集長, 2012.4-.
- (e) NECESSArray 計画ー中国大陸からみる地球内部ダイナミクス, 分担, 川勝均 (代表:東大・地震研) ほか, 10名, 3800千円, 2007.4-2012.3.

山野 誠

- (b) 日本地震学会, 学校教育委員会委員, 1999.5-2013.3.
- 日本地球惑星科学連合, 教育問題検討委員会委員, 2005.7-2014.5.
- 日本地球惑星科学連合, 男女共同参画委員会委員, 2006.5-2013.5.
- 日本地震学会, 男女共同参画推進委員会委員, 2006.5-2013.3.
- (e) 「都市の地下環境に残る人間活動の影響」, 分担, 谷口真人 (代表:総合地球環境学研究所) ほか, 約 40名, 2005.4-2011.3.
- 科学研究費 (基盤 (B))「日本海溝に沈み込む太平洋プレートの温度構造と水の分布の研究」, 代表, 瀬野徹三・馬場聖至・木下正高 (JAMSTEC)・後藤忠徳 (JAMSTEC)・後藤秀作 (産総研)・山本順司 (京大・理), 7名, 14,300千円, 2007.4-2011.3.
- 科学研究費 (新学術領域研究)「超深度掘削が拓く海溝型巨大地震の新しい描像」, 分担, 木村学 (代表:東大・理) ほか, 約 50名, 2009.4-2014.3.

馬場 聖至

- (b) 地球電磁気・地球惑星圏学会, 学生発表賞事務局員, 2010.4-2012.3.
- Working Group I.2 International Association of Geomagnetism and Aeronomy (IAGA), Committee, 2012.8-.
- (e) プチスポット総合研究ー岩石学と海域調査:海洋リソスフェア発達過程解明に向けて, 分担, 阿部なつ江 (代表:海洋研究開発機構)・荒井章司 (金沢大学)・富士原敏也 (海洋研究開発機構)・杉岡裕子 (海洋研究開発機構)・鈴木勝彦 (海洋研究開発機構), 6名, 850千円, 2008.4-2012.3.
- 海半球計画の新展開:最先端の海底観測による海洋マントルの描像, 分担, 歌田久司 (代表:東大・地震研) ほか, 18名, 2,048千円, 2010.4-2014.3.

一瀬 建日

- (b) 地震学会, 夏の学校委員会, 委員, 2011.4-2012.3.
- (e) 科学研究費 (基盤 (A))「海底地震・電磁気観測によるポリネシア・マントルプルームの実態解明」, 分担, 末次大輔 (代表:JAMSTEC・IFREE) ほか, 9名, 千円, 2007.4-2011.3.
- 科学研究費 (基盤 S)「NECESSArray 計画ー中国大陸からみる地球内部ダイナミクス」, 分担, 川勝均 (代表:東大・地震研) ほか, 10名, 千円, 2007.4-.

西田 究

- (b) 日本地震学会, 広報委員, 2004.4-2012.3.

綿田 辰吾

- (e) 4次元 GPS トモグラフィーによる地震動に伴う電離層内短周期波動現象の解明に関する研究, 代表, 小沢慎三郎 (国土地理院), 2名, 千円, 2007.8-2013.3.
4次元 GPS トモグラフィーによる地震動に伴う電離層内短周期波動現象の解明, 分担, 大林政行 (海洋開発機構)・小沢慎三郎 (国土地理院), 3名, 2500千円, 2008.4-2012.3.
リアルタイム火山爆発強度指標決定に関する研究, 分担, 井口正人 (京大・防災研), 為栗 健 (京大・防災研), 嶋野岳人 (富士常葉・環境防災), 八木原 寛 (鹿大・理), 及川 純 (地震研), 6名, 18460千円, 2008.4-2011.3.
人工永久散乱体を用いた SAR 干渉解析により活火山のマグマ上昇過程を解明する, 分担, 及川純 (代表)・古屋正人 (北大・理)・井口正人 (京大・防災研)・青木陽介・綿田辰吾, 5名, 3800千円, 2009.4-2012.3.
高精度大気圧観測が明かすカルデラ形成に伴う地表陥没過程, 代表, 森田裕一・大湊隆雄・市原美恵・藤田英輔, 5名, 18460千円, 2009.4-2013.3.
急変する地球重力場より発生する津波, 代表, 佐竹健治, 2名, 2930千円, 2010.4-2011.3.
国際緊急共同研究・調査支援プログラム (J-RAPID) 大地と海と宇宙から見た 2011 年東北地方太平洋沖地震: 地震発生と津波予測向上のための重要な実践的研究, 代表, 矢萩智裕 (国土地理院), 2名, 2365千円, 2011.10-2013.3.
気圧波解析が明かす巨大地震に伴う津波発生過程, 代表, 今西祐一・新井伸夫 (日本気象協会)・村山貴彦 (日本気象協会)・岩国真紀子 (日本気象協会)・野上麻美 (日本気象協会), 6名, 2900千円, 2012.4-2014.3.

高エネルギー素粒子地球物理学研究センター

大久保 修平

- (b) 日本学術会議, 連携会員, 2006.8-2011.9.
日本学術会議 IAG 小委員会, 委員長, 2006.10-2011.9.
日本学術会議 IUGG 分科会, 幹事, 2007.3-2011.9.
日本測地学会, 会長, 2007.4-2011.3.
Geodesy and Geodynamics, Editor, 2011.1-2013.12.
日本測地学会, 評議員, 2011.4-2013.3.
日本学術会議 IUGG 分科会, 委員長, 2011.10-2014.9.
日本学術会議企画分科会, 委員, 2011.10-2014.9.
日本学術会議国際対応分科会, 委員, 2011.10-2014.9.
日本学術会議, 会員, 2011.10-2015.10.
(e) ミューオン・ラジオグラフィーと高品位重力連続観測で, 桜島火山体マグマ移動を視る (京大防災研, 一般共同研究), 代表, 東京大学地震研究所 9名, 京都大学防災研究所 2名, 京都大学理学研究科 1名, 12名, 1300千円, 2010.4-2012.3.

田中 宏幸

- (b) International Workshop on High Energy Science: Muon and Neutrino Radiography, Corresponding Organizer, 2008.6-
Mu-RAY Workshop, Organizer, 2008.9-
2nd International Workshop on High Energy Earth Science: Nu-TRAcK and Mu-RAY Joint Meeting 09, Corresponding Organizer, 2009.1-
European Geosciences Union General Assembly 2011, Co-Convener, 2010.10-2011.4.
(e) 平成 21 年度新学術領域研究「高エネルギー素粒子による固体地球内部のイメージング法の開発と火山・地震現象の解明」, 代表, 名, 千円, 2009.4-2012.3.
新日本製鐵共同研究「宇宙線ミュオンによる高炉内測定技術の開発」, 代表, 名, 千円, 2009.4-2011.3.
電気化学工業共同研究「宇宙線ミュオンによる電炉内測定技術の開発」, 代表, 名, 千円, 2009.4-2011.3.
MEMORIA CIENTIFICO-TCNICA DEL PROYECTO "RADIOGRAFA CON RAYOS COSMICOS DE MUONES: UNA NUEVA TCNICA PARA OBSERVAR EL INTERIOR DE LOS VOLCANES", 代表, P. Hernandez, G. Melin, R. Nishiyama, A. Taketa, J. Barrancos, F. Rodriguez, D. Calvo, S. Dionis, F. Rodriguez, D. Calvo, S. Dionis, 12名, 千円, 2010.8-2013.12.

巨大地震津波災害予測研究センター

堀 宗朗

- (b) Journal of Earthquake and Tsunami, Managing Editor, 2007.1-2012.1.
Journal of Seismology and Earthquake Engineering, Editorial Advisory Board, 2007.11-2012.10.
Journal of Earthquake Engineering and Structure Dynamics, Editor, 2008.9-2012.8.

防災科学技術研究所数値震動台開発研究分科会, 委員長, 2008.10-2011.3.
 International Journal of Earthquakes and Structures, Member of Editorial Board, 2009.10-
 土木学会応用力学委員会, 委員長, 2012.9-2014.8.
 International Journal of Sustainable Materials and Structure Systems, Member of Editorial Board, 2012.11-

古村 孝志

- (b) 一般社団法人日本地球惑星科学連合, 理事, 2010.4-2011.3.
 (社) 日本地震学会強震動委員会, 幹事, 2010.4-2011.3.
 (社) 日本地震学会, 理事, 2010.4-2011.3.
 公益社団法人日本地震学会, 理事, 2011.4-2012.3.
 公益社団法人日本地球惑星科学連合, 理事, 2011.4-2012.3.
 EPS Special Issue, Guest Editor, 2011.12-
 公益社団法人日本地震学会, 代議員, 2012.4-2015.3.
 公益社団法人日本地球惑星科学連合, 理事, 2012.5-2015.4.
 (c) Japan Association for Computational Mechanics (JACM) Fellows Award, 7月10日, 2012.

市村 強

- (b) 土木学会応用力学委員会計算力学小委員会, 委員, 2004.4-
 土木学会地震工学委員会, 委員, 2005.12-
 土木学会応用力学論文集編集委員会, 副査, 2006.4-
 地震予知総合研究振興会/ガスパイプライン他の地震時挙動に関する研究委員会, 委員, 2009.4-
 防災科学技術研究所数値震動台開発研究委員会, グループ主査, 2009.4-2011.3.
 土木学会応用力学委員会, 幹事, 2009.10-
 土木学会応用力学委員会イノベーション推進小委員会, 委員長, 2011.4-
 次世代スパコン戦略分野3都市シミュレーションSWG, グループ主査, 2011.4-
 地震工学会大会実行委員会, 委員, 2011.5-2011.12.
 土木学会地震工学委員会想定地震動研究開発小委員会, 幹事長, 2012.4-
 (e) 分合流部を有する道路トンネルの耐震設計技術に関する研究, 分担, 首都高, 鹿島建設, 10名, 千円, 2009.10-2011.3.

田中 聖三

- (b) 土木学会応用力学委員会計算力学小委員会, 委員, 2006.4-

地震火山噴火予知研究推進センター

三浦 哲

- (b) 測地学会, 庶務委員長, 2010.4-2011.3.
 地震学会, 代議員, 2010.4-2012.3.
 測地学会, 評議員, 2010.4-2012.3.
 地震学会, 地震予知検討委員会, 委員, 2011.4-2012.3.

吉田 真吾

- (b) 日本地震学会, 代議員, 2007.4-2011.3.
 防災研究フォーラム, 幹事, 2007.4-2011.3.
 自然災害研究協議会, 委員, 2007.4-2011.3.
 (e) 研究集会「地震発生の素過程」, 代表, 吉岡直人 他, 20名, 万円, 2003.4-

飯高 隆

- (b) Earth, Planets and Space, Editor, 2007.4-2011.3.
 社団法人 日本地震学会 欧文誌運営委員会, 委員, 2010.4-2011.3.
 社団法人 日本地震学会, 代議員, 2010.4-2011.3.
 社団法人 日本地震学会, 代議員, 2011.4-2012.3.
 社団法人 日本地震学会 欧文誌運営委員会, 委員, 2011.4-2012.3.
 社団法人 日本地震学会 欧文誌運営委員会, 委員, 2012.4-2013.3.
 社団法人 日本地震学会, 代議員, 2012.4-2013.3.

加藤 尚之

- (b) 日本地震学会, 代議員, 2010.4-2012.3.
 日本地震学会, 理事, 2012.4-2014.3.

福田 淳一

- (b) 日本地震学会, 夏の学校委員会, 委員, 2011.4-2012.3.

加藤 愛太郎

- (b) 日本地震学会, 夏の学校委員会, 委員, 2011.4-2012.3.
日本地震学会, 災害調査委員会, 委員, 2012.4-2013.3.
- (c) 平成 23 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者賞, 4 月 11 日, 2011.4.11.

観測開発基盤センター

岩崎 貴哉

- (b) Solid Earth, Co-editor, 2009.10-
日本地震学会, 代議員, 2010.4-2012.3.
- (e) 巨大地震を探る: ニュージーランド北島の構造探査, 代表, 佐藤比呂志・平田直・飯高隆・蔵下英司・加藤愛太郎 (東大地震研), 宮内崇裕 (千葉大), 石山達也 (東北大), 10 名, 5,600 千円, 2009.4-2012.3.
神縄・国府津-松田断層帯における重点的調査観測, 代表, 佐藤比呂志・瀨瀬一起 (東大地震研), 小原一成・松原誠 (防災研), 小川康雄 (東工大), 今泉俊文・石山達也 (東北大), 丸山正 (産総研), 明田川保・小田原啓 (温泉地学研究所), 20 名, 15,454 千円, 神縄・国府津-松田断層帯における重点的調査観測, 2010.4-2011.3.
巨大地震を探る: ニュージーランド北島の構造探査, 代表, 佐藤比呂志・平田直・飯高隆・蔵下英司・加藤愛太郎 (東大地震研), 宮内崇裕 (千葉大), 石山達也 (東北大), 10 名, 16,500 千円, 2010.4-2011.3.
濃尾断層系における歪・応力集中過程と破壊様式解明のための総合的研究, 代表, 平田直 (東大地震研), 飯高隆 (東大地震研), 勝俣啓 (北大理), 海野徳仁 (東北大), 岡田智巳 (東北大), 山崎文人 (名大環), 鷺谷威 (名大環), 飯尾能久 (京大防災研), 伊藤潔 (京大防災研), 松本聡 (九大理), 松島健 (九大理), 宮町宏樹 (鹿児島大), 30 名, 23,185 千円, 地震及び火山噴火予知のための観測研究計画 平成 21 年度年次報告 機関別/成果の概要, 2010.4-2011.3.
神縄・国府津-松田断層帯における重点的調査観測, 代表, 佐藤比呂志・瀨瀬一起 (東大地震研), 小原一成・松原誠 (防災研), 小川康雄 (東工大), 今泉俊文・石山達也 (東北大), 丸山正 (産総研), 明田川保・小田原啓 (温泉地学研究所), 20 名, 64,318 千円, 神縄・国府津-松田断層帯における重点的調査観測, 2011.4-2012.3.
巨大地震を探る: ニュージーランド北島の構造探査, 代表, 佐藤比呂志・平田直・飯高隆・蔵下英司・加藤愛太郎・石山達也 (東大地震研), 宮内崇裕 (千葉大), 10 名, 13,500 千円, 2011.4-2012.3.
濃尾断層系における歪・応力集中過程と破壊様式解明のための総合的研究, 代表, 平田直 (東大地震研), 飯高隆 (東大地震研), 勝俣啓 (北大理), 海野徳仁 (東北大), 岡田智巳 (東北大), 山崎文人 (名大環), 鷺谷威 (名大環), 飯尾能久 (京大防災研), 伊藤潔 (京大防災研), 松本聡 (九大理), 松島健 (九大理), 宮町宏樹 (鹿児島大), 30 名, 3,907 千円, 地震及び火山噴火予知のための観測研究計画 平成 22 年度年次報告 機関別/成果の概要, 2011.4-2012.3.

小原 一成

- (b) 日本地震学会, 代議員, 2010.4-2012.3.
日本地震学会, 代議員, 2012.4-2014.3.
- (c) 2011 年度日本地震学会論文賞 Seismic velocity decrease and recovery related to earthquake swarms in a geothermal area, 5 月 20 日, 2012.5.20.

篠原 雅尚

- (b) 海洋調査技術学会, 評議員, 2009.10-2011.9.
海洋調査技術学会, 企画委員会委員長, 2009.10-2011.9.
(社) 日本地震学会, 理事 (大会企画委員長), 2010.5-2012.5.
海洋調査技術学会, 企画委員会委員長, 2011.10-2013.9.
海洋調査技術学会, 評議員, 2011.10-2013.9.
(公社) 日本地震学会, 代議員, 2012.5-2014.5.
- (c) 日本海洋工学会 JAMSTEC 中西賞, 7 月 27 日, 2011.7.27.
- (e) 海底下の大河: 地球規模の海洋地殻中の移流と生物地球化学作用, 分担, 浦辺徹郎 (代表: 東大・理)・沖野郷子 (東大・海洋研)・島伸和 (神戸大・内海セ)・佐藤暢 (専修大・経営)・海野進 (金沢大・自然) ほか, 46 名, 1,425 千円, 2008.4-2012.3.
2011 年東北地方太平洋沖地震に関する総合調査, 代表, 村井芳夫 (北大理)・藤本博己 (東北大)・日野亮太 (東北大)・佐藤利典 (千葉大)・平田直 (東大地震研)・飯尾能久 (京大防災研)・植平賢司 (九大理)・宮町宏樹 (鹿大)・小平秀一 (海洋機構) ほか, 33 名, 48,900 千円, 2011.3-2011.3.
2011 年東北地方太平洋沖地震に関する総合調査, 代表, 村井芳夫 (北大理)・藤本博己 (東北大)・佐藤利典 (千葉大)・佐竹健治 (東大地震研)・植平賢司 (九大理)・八木原寛 (鹿大)・小平秀一 (海洋機構)・平田賢治 (気象研) ほか, 32 名, 48,800 千円, 2011.4-2012.3.
東北地方太平洋沖で発生する地震・津波の調査観測, 代表, 佐藤比呂志 (東大地震研)・末次大輔・小平秀一・金松敏也 (海洋機構)・池原研 (産総研) ほか, 12 名, 1,635,343 千円, 2012.2-2016.3.
移動体搭載型重力計システムの高度化と実海域における実証試験観測, 代表, 新谷昌人 (東大地震研)・金沢敏彦 (防災科研)・月岡哲 (海洋機構), 4 名, 60,000 千円, 2012.4-2014.3.

新谷 昌人

- (e) レーザー伸縮計と超伝導重力計の同時観測による地球の固有振動の研究, 分担, 田村良明 (国立天文台)・池田博 (筑波大学)・福田洋一 (京大理)・森井互 (京大防災研)・今西祐一 (海洋研)・大橋正健 (宇宙線研) ほか, 16 名, 300 千円, 2009.4-2013.3.
光ファイバネットワークを利用した地震・津波・地殻変動の面的な計測技術の構築, 分担, 中沢正隆・廣岡俊彦 (東北大・電通研), 三ヶ田均 (京大・工), 浅川賢一・高橋幸男 (JAMSTEC), 約 20 名, 千円, 2011.4-2012.3.
光ファイバネットワークを利用した地震・津波・地殻変動の面的な計測技術に関する研究, 代表, 中沢正隆・廣岡俊彦 (東北大・電通研), 三ヶ田均 (京大・工), 浅川賢一・高橋幸男 (JAMSTEC), 約 20 名, 810 千円, 2012.4-2013.3.

大湊 隆雄

- (b) 日本火山学会, 庶務委員長, 2010.6-2012.5.
Bulletin of Volcanology, Associate Editor, 2011.10-.

酒井 慎一

- (b) 公益社団法人日本地震学会, 常務理事, 2010.5-2012.5.
公益社団法人日本地震学会倫理委員会, 委員, 2010.5-2012.5.
(e) 多点高密度地震計測システムの構築に関する研究, 代表, 松尾直之, 矢尾博信 (富士電機) ほか, 10 名, 2500 千円, 2011.4-2013.3.

卜部 卓

- (b) 日本地震学会, 代議員, 2010.4-2012.3.
I T 強震計コンソーシアム, 幹事, 2010.9-2011.8.
I T 強震計コンソーシアム, 幹事, 2011.9-2012.8.
日本地震学会, 代議員, 2012.4-2014.3.
(c) JGN2plus アワード (社会基盤貢献賞) 広域 L2 網による次世代地震データ交換・流通システムの構築, 2月7日, 2011.2.7.
(e) 東京都伊豆諸島火山観測データによる地殻活動に関する研究, 代表, 鶴岡 弘 (東大・地震研)・中川茂樹 (東大・地震研)・大湊隆雄 (東大・地震研)・渡辺秀文 (東京都)・萩原弘子 (東京都), 6 名, 19059 千円, 伊豆諸島の地震活動・東京都伊豆諸島火山観測網低速データ報告書 (月次/年次), 2010.4-2011.3.
東京都伊豆諸島火山観測データによる地殻活動に関する研究, 代表, 鶴岡 弘 (東大・地震研)・中川茂樹 (東大・地震研)・大湊隆雄 (東大・地震研)・渡辺秀文 (東京都)・萩原弘子 (東京都), 6 名, 19059 千円, 伊豆諸島の地震活動・東京都伊豆諸島火山観測網低速データ報告書 (月次/年次), 2011.4-2012.3.
東京都伊豆諸島火山観測データによる地殻活動に関する研究, 代表, 鶴岡 弘 (東大・地震研)・中川茂樹 (東大・地震研)・大湊隆雄 (東大・地震研)・渡辺秀文 (東京都)・萩原弘子 (東京都), 6 名, 19059 千円, 伊豆諸島の地震活動・東京都伊豆諸島火山観測網低速データ報告書 (月次/年次), 2012.4-2013.3.

前田 拓人

- (c) 2011 年地震学会論文賞, 5月22日, 2012.5.22.

地震火山情報センター

佐竹 健治

- (b) IUGG Tsunami Commission, chair, 2008.1-2011.7.
IASPEI, Executive Committee Member, 2008.1-2011.7.
Pageoph topical issue, guest editor, 2009.12-2011.12.
日本活断層学会, 理事, 2010.4-2012.3.
日本地球惑星科学連合, 代議員, 2010.4-2012.3.
日本地震学会, 代議員, 2010.5-2012.4.
IASPEI, Executive Committee Member, 2011.7-2015.7.
IUGG, Bureau member, 2011.7-2015.7.
AOGS, Vice President, 2011.8-2012.8.
Pure and Applied Geophysics, Guest editor for topical volume, 2011.12-2012.10.
AOGS, President, 2012.8-2014.7.
(c) 文部科学大臣 科学技術賞, 4月17日, 2012.4.17.
(e) インドネシアにおける地震火山の総合防災策, 代表, 加藤照之 (東大地震研), 井口正人 (京大防災研), 今村文彦 (東北大), 海津正倫 (名大), 小川雄二郎 (富士常葉大), 是澤優 (アジア防災センター), Hery Harjono (LIPI), Hasanudin Z. Abidin (ITB), Surono (PVMBG), Mulyo Harris Pradono (BPPT), Deni Hidayati (LIPI), Irina Rafflesia (BPPT), Pariatmono (RISTEK), 約 100 名, 約 150, 000 千円, 2008.12-2012.5.

鷹野 澄

- (b) 日本災害情報学会, 広報委員会委員, 2005.4-.
日本災害情報学会, デジタル放送研究会委員, 2005.4-.

日本地震学会, 代議員, 2005.5-

IT 強震計研究会, 代表, 2006.6-

IT 強震計コンソーシアム, 代表, 2008.4-

- (c) JGN2plus アワード (社会基盤貢献賞) 広域 L2 網による次世代地震データ交換・流通システムの構築, 2月7日, 2011.
- (e) IT 強震計コンソーシアム, 代表, 荒木正之 (株式会社 aLab) ほか, 20名, 1400千円, 2010.4-2011.3.
- IT 強震計コンソーシアム, 代表, 荒木正之 (株式会社 aLab) ほか, 20名, 1200千円, 2011.4-2012.3.

鶴岡 弘

- (b) 日本地震学会選挙管理委員会, 委員長, 2011.11-2012.2.
- (e) 長期的スロースリップイベントの発生と非火山性微動の振幅度数分布変動の関連性, 分担, 須田直樹 (広島大学), 2名, 千円, 2010.4-2011.3.
- GRiD MT を用いた九州地方及び日向灘の長周期地震波モニタリング, 分担, 植平賢司 (九州大学), 2名, 千円, 2010.4-2011.3.

中川 茂樹

- (b) 日本地震学会夏の学校委員会, 委員長, 2011.6-2012.3.

大木 聖子

- (b) 地震学会/学校教育委員会, 2008.4-.
- 地震学会/普及行事委員会, 2008.4-.
- 地震学会/男女共同参画委員会, 2008.4-.
- 地球惑星科学連合/アウトリーチ委員会, 2008.4-.
- 災害情報学会/大会実行委員会, 2008.4-.
- 日本地震学会 学校教育委員会, 委員, 2011.4-2012.3.
- 日本地震学会 東北地方太平洋沖地震対応臨時委員会, 委員, 2011.7-2012.5.
- 日本地震学会 学校教育委員会, 委員, 2012.4-2013.3.
- 日本地震学会 代議員, 代議員, 2012.4-2013.3.
- 日本地震学会 普及行事委員会, 委員, 2012.4-2013.3.
- 地球惑星科学連合 アウトリーチ委員会, 委員, 2012.4-2013.3.
- (c) リスク研究学会大会発表論文賞, 11月20日, 2011.
- 東京消防庁麹町消防署感謝状, 11月15日, 2011.
- 東京消防庁千住消防署感謝状, 11月9日, 2011.
- アメリカ地球物理学会秋季大会の公式記者会見への指名, 12月5日, 2011.
- 東京消防庁成城消防署感謝状, 11月11日, 2011.11.11.
- 産経児童出版文化賞 JR 賞 受賞, 6月5日, 2012.6.5.
- 東京消防庁千住消防署感謝状, 11月9日, 2012.11.9.
- 東京消防庁赤坂署感謝状, 11月14日, 2012.11.14.
- 東京消防庁本郷消防署感謝状, 11月15日, 2012.11.15.
- 科学技術への顕著な貢献 2012 (ナイスステップな研究者), 12月21日, 2012.12.21.
- (e) 地震学のアウトリーチにおける社会のニーズとノイズの研究, 分担, 勝俣啓 (北海道大学), 2名, 3500千円, 2008.4-2011.3.
- ウェブアンケートに基づく地震被害と震度の研究 -地震災害情報 Web2.0-, 代表, 山崎克之 (長岡技術科学大学) Phyu Phyu Kywe (長岡技術科学大学), 3名, 3000千円, 2009.4-2011.3.